

松江市・宝塚市姉妹都市提携のはじまり

提携の申し入れは宝塚市からである。同市は、兵庫県が長野県と観光姉妹提携をしたことを参考にして、姉妹都市提携を行って観光産業の一層の育成、発展に役立てようと四十一年の春から準備に入り、議会や観光協会、商工会の協力を得るため観光姉妹都市提携準備委員会を発足させた。

宝塚市には、阪神圏と山陰本線を結ぶ福知山線が走っており、四十一年三月「特急やくも」が停車、四十二年十月には「特急まつかぜ」が停車することになり、山陰方面との距離が短縮された。

そこで準備委員会では、「山陰本線沿線の観光都市と提携して、お互いに広く他市に紹介し、その来遊客の増大を図り観光開発の振興に資する。」(提携要綱)ことを目的として、松江市、宮津市(京都)、出雲市(島根)を候補地に選定した。

一年がかりで都市の性格、観光環境、観光客の流れ、将来への展望などを比較検討した結果、「古代出雲文化の発祥の地として神話、古跡に富み、また風光明媚、松江温泉をはじめ幾多の観光資源を有する全国有数の観光都市である松江市」と「宝塚歌劇とともに世界でその名を知られ、温泉・遊園地・ゴルフ場等人々のよき近代的なレクリエーションの地である宝塚市」とが類似点と異質な環境・資源を持ちながら相協力して、観光、文化を通じて広く内外に紹介することは両市の発展に大きく寄与するものと考えられ、松江市が最もふさわしい提携候補ということになり、四十二年二月同市へ打診された。

同年六月、松江市が承諾の回答をして、近代的観光資源を有する宝塚市と自然と歴史に育まれた観光資源を有する松江市との提携話が成立し、同年八月一日に提携式が宝塚市民会館において行われた。提携の事業として「①文化・観光に関する情報・資料を相互に提供、PRする」、「②観光展・物産展を相互に開き、産業・文化を紹介する」、「③学童・生徒の生活体験、修学旅行などについて交流をはかる」、「④都市行政向上のため資料交換、相互研究を行う」などが決められ、交流がスタートしている。